

## 豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2023年 11月7日(火)	危機管理部 危機管理課	23-1111 (内線2191)	畑中聖史 (危機管理課長)

(件名)

### 台風23号メモリアル事業「防災学習会」を開催します

(内容)

平成16年10月20日に本市を襲った台風23号から19年が経過し、この風水害の経験を風化させることのないよう防災学習会を開催します。

記

1 日時

11月11日(土) 午後4時～6時(開場:午後3時30分)

2 会場

じばさんTAJIMA 多目的ホール

3 目的

住民自らの防災の取組み内容を伝え、知ることで、地域の防災・減災を考える機会とし、防災意識の向上を目指します。

4 内容

(1) 豊岡総合高校・和田山高校のおもいやり隊、豊岡市立港中学校、八条コミュニティによる事例発表。

(2) 豊岡総合高校・和田山高校のおもいやり隊の取組み紹介パネル展示など

(3) 市内企業による防災グッズの紹介

ア マルシン文具店:備災バック(防災士とバックメーカーが共同開発)

イ ネイバー(株):普段はインテリアとして使用できる椅子型防災バッグ

ウ 丸真化学工業(株):米ぬかを利用した非常用防臭トイレ袋

※詳細は別紙チラシを参照してください。

5 共催

国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所、兵庫県但馬県民局、豊岡市

<問合せ> 危機管理課(担当:福田) TEL 23-1111(内線2193)

平成16年台風23号メモリアル事業

# 防災学習会

～過去の水害を振り返り、  
教訓を次世代につなげる～

豊岡市では平成16年水害を教訓に、防災学習会を始めとして、防災教育教材による授業や住民ワークショップが継続的に開催され、防災意識の向上を目指しております。

今年度の防災学習会では、その機運をさらに高めるために、住民自らの活動報告の場と位置づけて、防災の取り組み内容を伝え、知ること、地域の防災・減災を考える機会にしたいと思っております。

**日時** 2023.11.11 **土** 16:00～18:00 (開場15:30)

**会場** じばさんTAJIMA 多目的ホール  
(但馬地域地場産業振興センター)

豊岡市大磯町1番79号 TEL 0796-24-5551

## 事前申込み制

下記申込み先まで  
お申込みください。

- 下記の申込み先まで、氏名・住所・連絡先(電話番号等)を添えてお申込みください。
- お車でお越しの際は、じばさんTAJIMA 駐車場をご利用ください。

## 防災取り組み事例発表

司会：フリーアナウンサー 佐伯 和亜 氏

- ① おもいやり隊  
豊岡総合高校・和田山高校
- ② 豊岡市立港中学校
- ③ 八条コミュニティ  
(地域コミュニティ組織)

### 防災の有識者よりコメントをいただきます

東京大学大学院情報学環  
特任教授 かただ としたか  
片田 敏孝 氏



2022/10/22 防災学習会 展示パネル

豊岡総合高校と和田山高校の  
取り組みを紹介する  
パネル展示もあります。  
ぜひご覧ください！



2022/10/22 防災学習会  
展示パネル

## 当日はYouTube ライブ配信を行います

右記 URL または二次元バーコードよりアクセスをお願いします。  
※ 事前申込みは不要です。どなたでもご覧いただけます。



<https://toyooka.bousaiseminar.jp>

※ 限定公開のため、この URL からしかアクセスできません。

共催

豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

申込み・問合せ

豊岡市危機管理部危機管理課 TEL 23-1111 (代表) / FAX 24-5932 / E-mail bousai@city.toyooka.lg.jp

# — 登壇者ご紹介 —

## おもいやり隊 豊岡総合高校・和田山高校

豊岡総合高校インターアクトクラブや、和田山高校ボランティア部など、地域の高校生たちで構成される有志団体。被災地を訪れ、支援・交流・検証などの活動を通して、災害や被災者の生活を学ぶとともに、命の価値や日常の感謝の意識を高めることを目的に活動している。本学習会では、今年の8月に地震と水害の被災経験のある熊本県を訪れ、その現地での経験、現地の人たちとの交流活動などについて発表を行う。



防災食・非常食の調理  
(熊本県人吉市  
ひまわり亭にて)

## 豊岡市立港中学校

港地区は、世代間の結びつきが強い特徴がある一方で、少子高齢化の進行とそれに伴う自力避難の困難な高齢者の増加が課題である。日中は多くの働き世代が不在となるため、日中の災害時には「地域の防災の担い手」として中学生にも期待が寄せられている。今年度の防災学習では、「中学生として地域でできる役割」に焦点を当て、災害を「わがこと」として捉える活動を展開している。具体的には、災害時の自身や家族の安全確保を前提に、地域と連携・協働して応急救助法を学び、避難訓練や保護者への引き渡し訓練を実施。今後も地域との結びつきを強化した取り組みを進める方針である。



◀ 引き渡し訓練 ▶



◀ 出前講座  
「災害時、中学生と  
してできること」

## 八条コミュニティ（地域コミュニティ組織）

平成 29 年 2 月設立。防災部では平成 29 年から、9 地区の自警団が日ごろ行っている防災活動を発表する「自主防災発表会」を年に一度開催。防災情報の交換会と位置づけ、住民たちの防災への意識を高めると共に、防災活動の充実を目指している。

令和 4 年には「八条ファミリー避難カード」を作成。防災マップによる災害リスクの確認や避難場所の再確認、避難を始めるタイミングなど、平時から話し合っておくことで防災意識を高める機会を持とうと、全戸配布を行った。



▲ 定期的に行われている  
防災ワークショップ



八条ファミリー避難カード ▶

## 有識者

かた だ として たか  
**片田 敏孝**

東京大学大学院情報学環 特任教授  
日本災害情報学会 会長

昭和 35 年岐阜県生まれ。工学博士。岐阜大学、群馬大学などを経て、2017 年より現職。専門は、災害情報学・災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。昨今の新型コロナウイルスと自然災害を通じて、改めて、一人ひとりのリスクに対する向き合い方（命の守り方）の重要性を説いている。

